

令和 5 年度
日本型教育の海外展開 (EDU-Port ニッポン) 応援プロジェクト
採択事業

申請機関	事業名	概要
カシオ計算機株式会社	インドネシア・タイでの探求型数学教育の普及、定着支援事業【インドネシア(ジャカルタ等)・タイ(バンコク、コンケン県、ウボンラチャタニ県、チョンブリ県、ラヨン県、スラータニ県、プーケット県等)】	令和 3 年度採択事業では、対象両国の教育施策で謳われている自ら考え学び続ける人材育成への貢献を目指し、関数電卓を用いた探求型授業を開発・実証した。その成果と改善点を元に教材改定等を行い、本事業では、それらを活用した主体的な学びと数学的思考力の向上に寄与する授業実践の普及・定着の手法確立を目指す。
株式会社公文教育研究会	ウガンダ共和国の遺児の支援施設での学位力向上への貢献事業。 【ウガンダ共和国・ナンサナ地区】	NGO あしながウガンダが運営する「あしながウガンダレインボーハウス」内の寺子屋プログラムに、タブレットを使用した公文式学習(算数・数学)を導入する。寺子屋の現地教師と、あしなが育英会が日本から派遣する留学研修生(大学生)が、公文式学習法を活用して指導し、子供たちの学力、非認知能力の向上に貢献する。
大阪府立城東工科高等学校	エジプトと国際交流【エジプト】	日本のモノづくり教育についてエジプトでは大変興味を持っています。日本のものづくり教育のカリキュラムや評価方法について両国の教員同士が交流会を通して理解を深めつつ、両国の生徒間同士の交流を行い国際理解を深める。

<p>株式会社 ジャクバ</p>	<p>体育事業、英会話事業、旅行事業、国際事業</p> <p>【日本、シンガポール、インドネシア、ベトナム、マレーシア、中国】</p>	<p>幼稚園・保育園の保育時間における正課指導と、保育終了後に園の施設を利用し「児童が通っている園で、そのまま習い事ができる」体育教室、サッカー教室、新体操教室（課外指導）を主な業務としながら、外国人講師による英会話教室や知育教室の海外展開も行うなど、国内外問わず幼児の能力開発教育を中心に事業を展開。</p>
<p>株式会社 内田洋行</p>	<p>カンボジア小学生の学校離脱を食い止める ICT・プリント活用【カンボジア】</p>	<p>小学校の児童の留年がコロナ前から大きな課題になっており、40名近いクラスサイズで、留年する子供への手当てができない現状にある。その数は低学年で20パーセントを超えており、やがてはドロップアウトしていくことが予想される。日本から3年にわたる EDU-Port 支援の成果を活用し改善する。</p>
<p>国立大学法人 お茶の水大学</p>	<p>日本の理科教育カリキュラムのアメリカ学校教育での展開【アメリカ合衆国】</p>	<p>初等中等教育機関であるハーモニー・スクール（インディアナ州・ブルーミントン市）において、日本で開発した観察・実験を主体とした理科教育を実施することで、日本の理科教育の先進性を米国において実証し、これを導入する学校の拡大を図る。</p>

<p>NPO 法人 Colorbath</p>	<p>学校現場でのデジタル教材の活用、及び質的向上に関する実証調査【ネパール】</p>	<p>「デジタル教材普及」に関する調査研究、教材研究力、実践型授業開発力、及びルールメイキング力といった日本型教育の特徴を活かした実証活動を通じて、ネパールの生徒の主体的な学びの質を向上させるための手法、ルール、実践共有のあり方を実証活動を通して調査する。</p>
<p>株式会社すららネット</p>	<p>算数教科のデジタル学習を通じた非認知能力育成と教員育成の成果検証【インドネシア、スリランカ、エジプト】</p>	<p>コロナ禍後の学力回復が課題となる3か国において、基礎学力及び非認知能力の向上を目的に、デジタル算数教材を導入した個別最適化された授業を実践。また効果的な授業運営の実現のための日本への招致も含めた教員研修も実施する。加えて、生徒の国際的な視野を広げるため、日本及び対象国合同で算数コンテストを開催する。</p>
<p>株式会社イル・ヴルール</p>	<p>職業訓練所における美容産業に携わる女性支援に関する調査【カンボジア】</p>	<p>カンボジアの女性に対し職業訓練所で教育活動を行い、美容分野における高度な技術と正しい知識の提供を計画している。ビジネスについての講座も設けて、プログラム終了後には、公的な資格を発行することで経済的自立及び起業を支援する。上記目的の達成に向けて調査を行い、本計画を現地のニーズや環境に沿って対応させる。</p>

<p>公益財団法人海外子女教育振興財団</p>	<p>アフリカの幼児教育施設に日本式幼児教育の良さを伝える TICAD 貢献プロジェクト【ケニア、モロッコ】</p>	<p>「日本の幼児教育が得意とする分野である『遊びを通しての好奇心や探求心を育てたり、協働活動の大切さや喜びを体験させたりする総合的な教育活動』を在外教育施設とオンラインで展開し、それをアフリカの子どもたちの「学びに向かう力」の育成につなげ、アフリカ社会の発展に貢献するための方策を考案・活用し、有効性を探る。</p>
<p>学研ホールディングス</p>	<p>デジタル媒体を取り入れた日本式読み聞かせ手法のベトナム可能性調査【ベトナム】</p>	<p>ベトナムでは就学前に読み書き習得のために塾通いをさせる家庭が増えており、経済成長に伴う教育アクセスへの格差が生まれつつある。この格差是正の解決の方途として、日本式読み聞かせ（紙・デジタル）の導入が効果的と思われる、本調査では、格差是正のために学校向けの児童書籍普及を念頭に、読み聞かせ活動や教師向けセミナーを行いその効果を検証する。</p>
<p>キャストリア株式会社</p>	<p>エチオピアにおける教員向けモバイル研修【エチオピア】</p>	<p>エチオピアではカリキュラム改定により中学校の科学と数学に新たな単元が追加されたが、予算不足のために教員研修が行われていない、リアル研修の代わりにスマートフォンを用いて教員が授業に必要な知見を習得してもらう。一定レベルに到達するまで何度も学べる他、履修データを分析することで他の科目への展開を可能にする。</p>

<p>公益財団法人海外子女教育振興財団</p>	<p>地球規模の課題解決に向けた新たな学習環境による探求学習の研究【ケニア・モロッコ】</p>	<p>誰も解を持たない複雑に絡み合う世界的課題をウエルビーイングという共通目標を持ち、世界中の子供たちが対話と協働学習によって解決策を共に創り出していく学習手法・環境を開発導入する。具体的には「時間と時空を超える協働ワークシート（仮称）を開発導入し、その教育国際化の検証プロセスを経て参加国の「教育の質の向上」に貢献する。</p>
<p>名古屋経済大学市邨高等学校</p>	<p>交流と対話的学びから取り組む SDGs～若者意識の考察と改善～【台湾】</p>	<p>ICT を活用し双方向型の対話的な学びをパートナーシップ協定校（国立台湾鳳山商高校・埼玉県立越谷北高校）、専門家、地方公共団体や企業と連携し行う。協働活動を通して難民問題・貧困問題に取り組む、SDGsに貢献する、予測困難な時代において日本の対話的学びの海外展開を通し、学び続ける力を確保し国際秩序に貢献する日本の姿勢を世界に明示する。</p>
<p>宮崎大学発ベンチャー企業一般社団法人 namstrops</p>	<p>日本型教育「創作ダンス（SOUSAKU-DANCE）」に「鑑賞教室」（特別活動の文化的行事）をセットさせた”「シン・SOUSAKU-ODANCE」の海外展開事業【中国、シンガポール、韓国】</p>	<p>わが国の児童生徒は、体育館などを利用した「鑑賞教室」を通して、より質の高い芸術文化に触れている。また、本物の価値や大切さを実感する体験が各教科の学習に生かされてきた。本事業は体育の「創作ダンス」に、集団への所属感や連帯感を緩やかに深める文化的行事の「鑑賞教室」をセットさせた”主体的・対話的で深い学び”を日本型教育「シン・SOUSAKU-DANCE」として海外へ紹介する。</p>